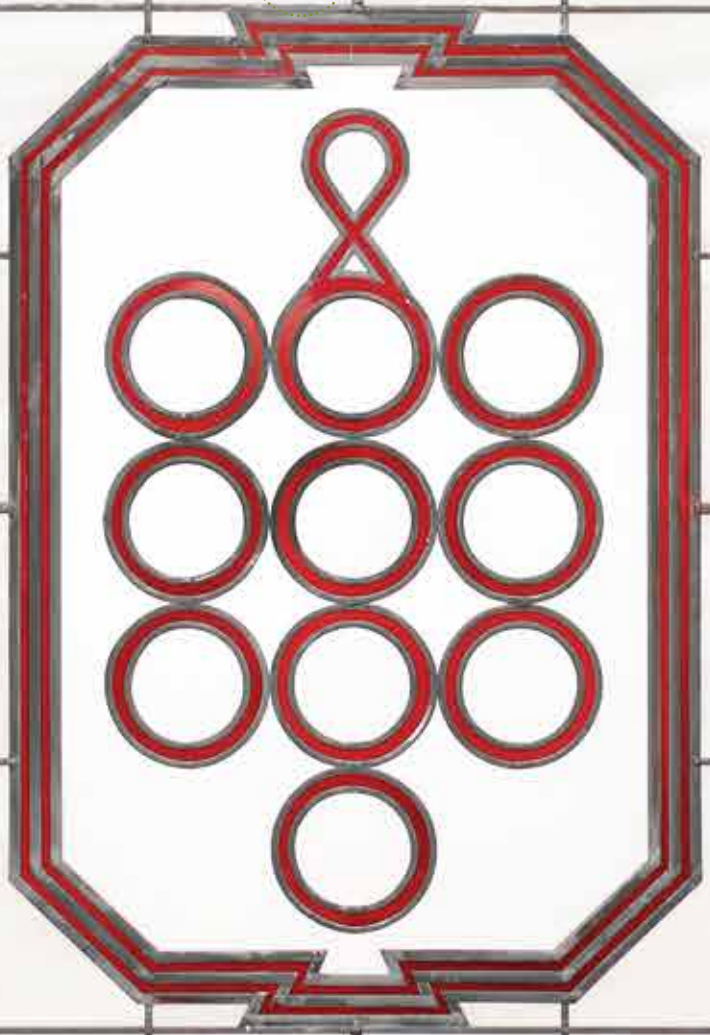
ぶどう

BUDOU
Alumnae association bulletin

2015

福岡女学院同窓会会報



Contents

同窓会会長挨拶……1
同窓会会長退任挨拶……2
2014年度同窓会総会報告……3
支部だより・2014年度支部総会報告……5・6
50年目の卒業式……7
看護大学同窓会……7
25年目の同窓会……7
恩師・先生……8
卒業生……9
留学生……9
62年前の少女どこ?……10
海外便り……10
125周年記念館6階に資料展示室開設……11
教養講座グレープ・ガーデン 報告・次回予告……11
学院INFORMATION……12
学院創立130周年記念行事……13・14
音楽科卒業生会……14
同窓会本部へようこそ……14
同窓会100年史作成準備中……14
バザー報告・グッズ紹介……15
お仕事会報告・同窓会本部……16
会計報告……17
ガリラヤ湖のほとり……18
カフェラウンジオープン!……18
逝去……18
イベント案内……19
編集後記……19

Vol. 20
2015 January

会長挨拶



同窓会会長
伊藤 和子
（S46年高卒）

新春のお慶びを申し上げます。

昨年6月より、栗山前会長の後を務めさせて頂いております。歴代の会長の皆々様の足元にも到底及びませんが、しっかり励んでまいりたいと思います。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

母校を思う卒業生の一人として、又ぶどうの枝に繋がる一人として、同窓会でのご奉仕をさせて頂きます事は、大変光栄で感謝でございます。

私事、感謝してもしきれない三人の母がおります。

一人目の母は、私を生んで育て上げてくれた実の母親です。大家族の中で育った私は家族中から可愛がられ甘えて育ちました。母はとても恐ろしい程厳しく感じましたが、兄弟姉妹からは五人目の子供で、かなり優しくなっていたと言われます。その母にきちんと育てられた事は大変有り難く感謝です。

二人目は、人として導き支えてくださった声楽家の三宅春恵先生です。音楽を志した16才の頃より先生と出会いました。声楽のレッスンを受け始め、大学に入ってからは歌のレッスンだけでなく、音楽の事、人に対する思いやり、先生のレッスン室や応接室、台所等を見る度に、限られた時間の中で片付け方、整理の仕方、食事の取り方、又生き方、人との接し方、そして傍らにいて学ぶ事が山ほどありました。レッスンや演奏会とは別に、遊びも門下生たちと一緒にして下さいました。母を亡くした後、「春恵先生のこと母親と思ってもいいですか。」とお尋ねしましたら、「嬉しいわ。いいわよ。」とおっしゃった先生も天国へ召されました。先生との出会いは人生最高のものです。

三人目の母は、見守り信じてくれた夫の母親、姑です。私の事を気に入って下さり、ずっと大事にしてくれました。15年もの長い間、病床生活が続き、見舞いに行くたびに「もう、お帰り。」と心を見透かされ、私は嫁としての責任で行っていることに気づかされ、姑に会いたいから会いに行こう。と思って見舞いに行き出してから「ありがとう。今日は何かあったの。」等と動かなくなった手足や顔でなく、目で私に語りかけてくれ、自分の事だけでも大変な中、心配してくれる姑に私は帰りの車の中で、前が見えなくなる程涙がとまらず…。その姑も「もう大丈夫ね」と言わんばかりに旅立ちました。

今は三人の母達とも天国ですが、感謝してもしきれないほどの愛情を受け、いなくなった寂しさは変わりませんが、心はいつも感謝と幸せでいっぱいです。

福岡女学院同窓会は、同じ学年の横の繋がりは勿論の事、学年を越えての縦の繋がりもあり、そして学院との繋がりもしっかりあり、全国にある支部に伺いながら、お一人お一人の女学院に対する思いの深さに改めて感銘を受けております。

今年度の学院の聖句に「一人より二人が良い。共に労苦すれば、その報いは良い。」の御言葉の如く、ぶどうの枝に繋がる一人一人として、確実にそれぞれの場所にあって、ミッションファミリーとして広がっていきます事を心より願います。

神様の豊かな恵みと祝福が皆様の上にあります様に心からお祈りしております。又、同窓会活動に皆様の温かいご支援とご協力の程をどうぞ宜しくお願い申し上げます。

会長退任挨拶



前同窓会会長
栗山 昌子
（S30年高卒）

「感謝をこめて」

昨年の5月をもって同窓会会長の役を退任いたしました。これまで多くの同窓生の皆さまに支えられ、無事に任務を果たすことができたことを感謝いたしております。

全くの予備知識もなく入った同窓会、しかも会長という大役を引き受けてしまい、初めてのことばかりで試行錯誤の日々でした。

総会をはじめ、年間行事、その立案から運営、当日の割当て、後片付けまで、全て各部長の元で役員やサポーターさん達の働きによってなされており、各支部長さんは支部会開催のため、参加者の人数と会場の設定等、早くからの準備、当日はご来賓や参加者への細やかなお心遣いをなさっていることです。

同窓会の本部は、臼佐キャンパスの学院の中、しかも入口近くにあります。お子さまやお孫さまが入学された時や行事の時には同窓生が時々お訪ねになります。また、嬉しいことには、自分の若かりし頃のコピーのような中高生や大学生が歩く姿を目にすることができます。特に、5月の創立記念日からは、入学時の冬服から五月晴れの空のようなブルーの軽快な夏服に代わる中高生たち。大学生も「ちょっと、まだ早いんじゃない?」と思うぐらいの夏姿のファッションで歩き出します。

学生時代の彼女らの若き心は、真っ白で、まるで和紙のような吸収力があるようです。先生の話を聞いていないようで、聞いているのです。毎日の礼拝、繰り返し言われたこと、心に響いた言葉は、身体の中にしっかりインプットされ、エッセンスとして残っています。先日、大学設立初期の小郡時代の同窓生と話した時、彼女らが口を揃えて言ったことは「女学院の良さは後になって、“じわーっ”と分かってくる」、社会に出てから暫くして自分の身体に女学院があることを実感するのだそうです。なんと言っても、同窓生の原点は学校なのです。

私は同窓会に関わって多くのことを学びましたが、一番の宝物は、そうでなければ出会う事のなかった素晴らしい先輩方、よく気がつく後輩達、懐かしい級友との出会いでした。しかも、それぞれが母校を思う気持ちの強いことです。同窓生のこの女学院を思う心をどのようにして具体化し、学院にお返しするのか、その方法を模索する役目が同窓会に課されているのではないかと思います。

力不足で充分なことはできませんでしたが、在任中、いろいろな面でお励ましくださり、お助けくださった方々に心から感謝いたします。最後に、皆さまの上に神様の豊かなお恵みがありますように、そして学院と同窓会の今後の発展を「希望を持って喜び」(ローマ12:12)たいと思います。

2014年度 同窓会総会報告



松原 安宏 理事長のご挨拶

2014年5月16日(金)西鉄グランドホテルにおいて来賓及び同窓生263名参加のもとに福岡女学院創立129周年、同窓会総会を開催いたしました。

【第一部】礼拝・総会

奨励は、中・高宗教主事 美濃部 信先生に「それでもなお立ち返る」のタイトルでお話を伺いました。第二次世界大戦下、徳永ヨシ先生はキリスト教排除の論理を押し付けられた時、「それでは学校存続の意味はなさず、思い切って閉校するより外に道はありません。」と毅然と言い切られました。環境が激変する今日、ヨシ先生の貫かれた建学の精神を思い出し、私たちも「神に立ち返る」というメッセージをもう一度確認することができました。

今回は、同窓会本部設立100周年を祝して中学・高等学校ハンドベル部による演奏がありました。ハンドベルの音色と制服姿の生徒にご自分の学生時代の姿を重ね合わせ、懐かしい日々を思い出された方も多かったのではないでしょうか。また、4月に「短期大学開学50周年記念祝賀会」が開催されたこともあり、例年よりも多くの短大卒の同窓生の参加がありました。

議事はすべて承認されました。今年度は栗山昌子前会長退任に伴い新会長に伊藤和子さんを、そして新たに9名の役員が加わりました。新会長をはじめ25名の役員で努めてまいります。







総会プログラム

【第二部】懇親会

懇親会は福岡女学院院長・学長木ノ脇悦郎先生の乾杯で始まりました。ゲストに藤吉久美子さん（S55年高卒）をお迎えし、山崎夕希子さん（S56年音卒）の司会でトークショーとなりました。

女学院中学を受験された時のお母様との思い出、寮で同室だった先輩に大変お世話になり、今でも感謝されていること、そして陸上部での経験がその後のNHK朝の連続テレビ小説「よーいドン」ご出演の時に活かされたことなどを話していただきました。

その後、当番学年による映像鑑賞、ピアノとヴァイオリンの演奏、卒業生合唱団「葡萄」による合唱、そして最後は出席者全員で「創立記念日の歌」「ハレルヤ」の大合唱で2014年度の総会は無事に幕を閉じました。

この総会のためにご協力くださいましたみなさまに心よりお礼申し上げます。







当番学年より

今回、50名でお手伝いさせていただきました。懐かしい先生方、友人と再会し、改めて福岡女学院で過ごした日々を思い出しました。

2015年に創立130周年を迎えるにあたり「女学院の歴史」をテーマに映像を作成し、音楽科の方々の演奏とともに楽しんでいただきました。

総会の準備には役員の皆様を始め、多くの方にご指導をいただき、無事に総会を終えることができましたことに感謝致します。

今後も学院と同窓会の益々のご発展と皆様のお幸せをお祈り致します。ありがとうございました。



当番学年
S62年高卒・H1年短卒

創立130周年 2015（平成27）年度
福岡女学院同窓会総会

日　時：2015年5月15日（金）午前11時～午後3時

場　所：西鉄グランドホテル

ゲスト：女優 伊佐山 ひろ子さん

会　費：7,000円
80歳（S28年高卒）以上の方5,000円・新卒の方3,000円

当番学年：S63年高卒・H2年短卒

詳しくは同封のチラシをご覧下さい。
チラシ（裏面）の振込用紙にてお申し込み下さい。





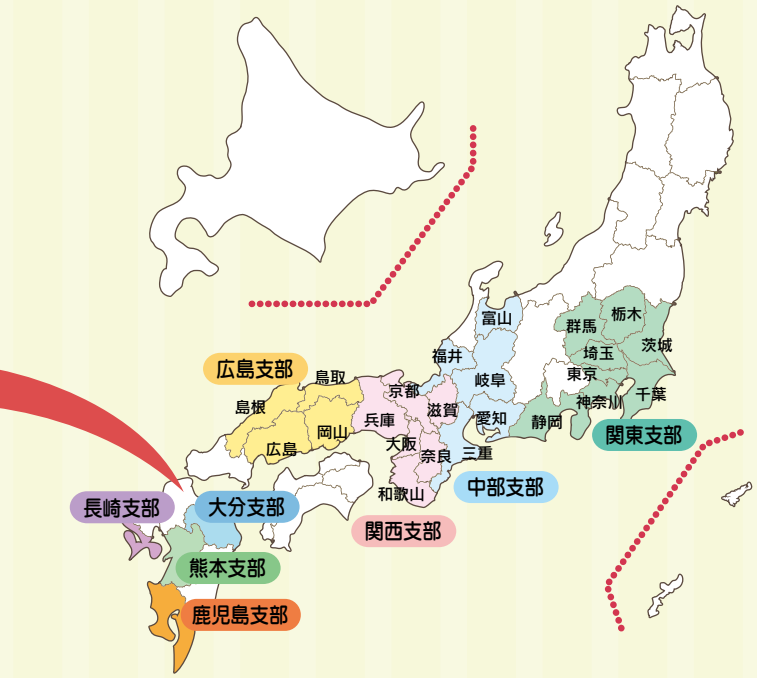


※ご注意、あらかじめ同窓会本部から許可のないチラシ・印刷物の提示や配布はご遠慮ください。

2014年度 支部総会報告

支部名（支部会員数）
支部長名（卒年）

以外のところにお住まいの方もお申し出があれば、どの支部にも、趣向を凝らした温かい会となっています。ミッショングッズの販売もの上、ぜひお出かけください。



広島支部（140名）
鳥飼 英子（S28年高卒）

10月9日（木）ホテルグランビア広島 にて

今回で14回目の支部会となりました。出席者は全員で14名でした。（内学院、同窓会より5名を含む）少ない人数ですが、出席者は満足して帰途につきました。木ノ脇院長・学長並びに松原理事長が今期で退任なさるそうで心よりありがとうございましたと申し上げます。尚、次期支部長を2年間のお約束で守屋靖子さん（S28年高卒）に決めました。出席者の若返りを望んでおります。どうぞよろしくお願いいたします。



関西支部（478名）
三好 純子（S42年高卒）

10月18日（土）
リッツカールトン大阪 にて

関西支部は設立20周年を迎えました。今回もリッツカールトンホテルの豪華な雰囲気の中、中村法子さん（S61年音卒）のピアノミニコンサート、また広島よりお越しいただいた恩師の松下教子先生のお話などよいひと時をもちました。関西支部では毎年支部長を交代致します。新年度の支部長は大城康子さん（S43年高卒）です。



中部支部（124名）
平田 輝子（S51年音卒）

4月18日（金）
名古屋マリオットアソシアホテル にて

初めて『春の支部総会』を、久し振りにホテル宴会場で開催致しました。また、これも初となる音楽科卒業生によるピアノとフルートのミニコンサートはとても和やかなひと時となり、出席者も喜んで下さいました。

翌19日には支部から3名計7名で伊勢神宮に小旅行を致しました。支部総会で話し足りなかった事等、乗り越しそうな程お喋りもでき楽しい一日となりました。



関東支部（2090名）
鈴木 恭子（S38年高卒）

10月24日（金）明治記念館 にて

台風一過の秋晴れの日、関東支部総会が和やかに開催されました。木ノ脇院長・学長の奨励では平和の尊さを改めて思い聖句に込められたメッセージをいただきました。松原理事長からは、学院の生徒数などの現状を伺い、二田校長は現在の女学院の様子をDVDで紹介いただき、元気に学生生活を送る後輩達の姿を見ることができました。今年で29年歌い続けていらっしゃるコールクレールの皆様の美声で会食が始まり、H3年音卒の林千夏さん、岡直美さんに、長唄杵屋流弥佶派三代目家元、杵屋弥佶さん賛助出演いただき、会場の庭園や美しい和食にぴったりの和の調べを堪能しました。恩師橋口先生には多大なご迷惑をかけた当番学年より懺悔と感謝の言葉を伝えました。二田校長先生の豪快な掛け声つきの指揮で思いきり歌ったハレルヤで同窓生が1つになりました。（当番学年 鶴井 エリモ（S62年高卒））





福岡女学院同窓会
2015年度 関東支部総会のご案内

日時 2015年10月23日（金）午前11:00~
場所 ハイアットリージェンシー《桃山》
東京都新宿区 西新宿 2-7-2 B1F
会費 8,000円＋1,000円（支部会費）

関東支部 HP http://fukujo-og-kanto.com/
当番学年代行 S62年高卒

2014年度支部長会

5月15日（木）天神サテライトにて10支部支部長と本部役員と報告会及び活動方針について討議いたしました。



北九州支部(1516名)
渕上 千津子(S48年高卒)

10月1日(水)ステーションホテル小倉 にて

北九州支部は毎年10月1日に同じ会場で総会を開催しています。総会後の会食の時には恒例の「じゃんけんゲーム」で盛り上がりました。「ぶどうの枝につながるミッションファミリー」の言葉の通り、さまざまな形で同窓生やその家族、学院関係者とのつながっていたこと、また、同級生との思いがけない再会などもあり、あっという間に時間が過ぎました。若い世代の参加者もたくさんいます。短大、大学、看護大卒のみなさまも、是非ご参加ください。



長崎支部(682名)
水田 庸子(S42年高卒、S44年短卒)

12月5日(金)ホテルニュー長崎 にて

長崎市内稲佐山を一望できる一室にて、2012年以来2年ぶりに支部総会を開催しました。

次回より支部総会の開催を、長崎市で2年佐世保市で1年と交替で開催することが決まり、2015年は佐世保市で支部総会を開催する予定です。



今回は長崎支部設立時の話など懐かしい話も披露され、先輩方より受け継がれてきた支部を大切にしよう、と会員一同で気持ちを一つにし、讃美歌を歌い再会を約束しました。

熊本支部(617名)
合志 知子(S51年音卒)

11月3日(月・祝)
ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ にて

とてもさわやかな青空の中の熊本城を見ながら女学院生にタイムスリップして温かく和やかな時間を過ごしました。松原理事長から女学院の現状を伺い「私たち卒業生にもできることがあればぜひやらせていただきたい。」との思いをあらためて持ちました。また、今回は鹿児島支部から2名、熊本支部でも3名の方が初参加して下さり皆で喜びました。これからも同窓生の「ホッとして元気になれる場」として集まっていけたら…と思っています。



鹿児島支部(383名)
菅原 愛子(S52年短卒)

11月11日(火)鹿児島東急イン にて

市内を流れる川を臨む見晴らしのよい一室にて今回も支部総会を開催いたしました。

短大卒の会員も多く参加しています。

鹿児島県は県内の交通の便が悪く、参加が困難な方もいらっしゃいますが、支部長、副支部長ともに一人でも多くの方にご参加いただけるように努力しております。



時間を忘れるほどとても楽しい会です。みなさま、どうぞご参加ください。

筑後南支部(652名)
安藤 恭子(S48年高卒、S50年短卒)

11月14日(金)
オームタガーデンホテル にて

例年同じ会場で支部総会を開催しています。

今回は、幅広い学年の参加者で、それぞれの近況報告や学院の思い出などを語り合い母校に感謝しながら和やかな雰囲気で開催できました。



これからもより多くの方が参加していただけるよう努めていきたいと思います。

支部だより

現在10支部あります。各支部の所在地は下記の通りです。範囲いくつでも所属することができます。毎年、各支部総会が開催され、行います。支部会員以外の方も参加可能ですので、お誘い合わせ



大分支部(903名)
安浪 敬子(S41年高卒)

11月7日(金)大分トキハ会館 にて

大分支部は設立10年になります。自己紹介の時に「学院時代の好きな学科と先生」というテーマで話していただきました。学年が違っていても共通の先生のエピソードに皆さん、うなずきながら聞かれていました。大分支部は短大・大学卒の方が多く、若い方は仕事や育児に忙しくなかなか参加していただけないようです。これから若い方が参加してみたいと思ってくださるような総会をめざしていきたいと思っております。



どの支部会にも参加できますので、同窓会事務局にお尋ね下さい

50 ANNIVERSARY

50年目の卒業式

S38年高卒　伊東　冨美子（旧姓／池田）

私たちは梅の花が咲き始めた2014年3月1日、第66回高校卒業式に参列させていただきました。

思い起こせば、私達は、故徳永ヨシ院長から入学式で、ぶどうの校章を頂いた最後の学年でした。又中学3年間を薬院で、高校1年からは臼佐で学びました。

当日校門をくぐり、正面の木の成長に目を見張り、50年の歳月を感じながら同窓会館に集まりました。そこでフリージアの花を胸につけていただき、懐かしい講堂に入りました。荘厳なパイプオルガンの演奏で式が始まり、清楚で凛とした佇まいの卒業生に、私たちも居ずまいを正してしまい更に、心に響く答辞に感動し、参列者皆涙してしまいました。この卒業生が、女学院で学び育んだ賜物を大切にして、これからの人生を力強く歩んで欲しいと、願わずにはいられません。

式後、同窓会館で、記念祝会が開かれ心の籠ったおもてなしの中、昔話に花を咲かせました。栗山会長、徳永名誉院長、二田校長の和やかなご挨拶があり、温かい学舎で過ごせた幸せを思いました。また、初めてのクラス担任を私たちの学年でされた福島先生が写真を撮ってくださいました。続く校内見学では、充実した設備にただ驚くばかりでした。その後は、幹事さんが用意して下さった同窓会会場の西鉄グランドホテルへ、三々五々移動しました。

私達は、薬院の講堂で使われた重厚な木の長椅子に触れて、改めて、葡萄の幹に繋がる枝である事を噛み締め、同窓生、母校の更なるご発展を祈りつつ、同窓会の役員の皆様に心から感謝を申し上げます。



25 ANNIVERSARY

25年目の同窓会

H1年高卒　高田　千寿子（旧姓／白水）

2014年5月17日（土）創立記念日に、二田真知子校長先生のご厚意により、「卒25周年の集い」を女学院で行うことができました。二田先生をはじめ、鶴原先生、原先生、木村先生、橋口先生、竹添先生、水野教頭先生、本村先生にお会いすることができ感激しました。参加してくれた51名の同窓生たちとは、昔話でいつまでも盛り上がりました。本当に会えて嬉しかったです！

ご協力いただいた福岡女学院中学・高等学校の事務室の方々、同窓会の方々には、感謝の気持ちでいっぱいです！

今回出席することができなかった同窓生たちと、次は必ず会えますように…。



看護大学同窓会

H24年看卒　上野　都花（旧姓／恵藤）



2014年10月25日（土）、サンヒルズ博多にて福岡女学院看護大学同窓会が開催されました。

1期生から3期生の同窓生、そして教職員の方々総勢80名が参加し、徳永徹顧問、松岡緑顧問の挨拶の後、西間学長の乾杯で会はスタートしました。

同窓生は全国の病院や市役所で看護師、助産師、保健師として勤務しており、久々に会った仲間達や教職員と仕事の話や懐かしい話に花を咲かせました。

当日参加出来なかった同窓生や教職員から届いたメッセージの披露や、各期で作成した学生時代の思い出が沢山詰まったDVDの上映など、とても楽しい会となりました。

恩師先生



板倉 武子先生

短大は開学50周年を迎えました。今回は恩師、先生方の中から板倉武子先生に主に、短大創設期の英語教育についてお話を伺いました。2003年福岡女学院大学名誉教授を経て、現在は天神サテライト、生涯学習センターなどで英文学の講座の担当のほか、執筆活動もされています。(著書:「いのちの賜物」「英語が拓いた人生 エネルギーはマイナスから」「アラベスク 人間模様」)

―先生は短期大学で、開学当時から英語を教えておられたそうですね。

ええ、そうですよ。実は開学前の1963年の秋から、前田淑先生のご指導の下、後田冨久子先生と図書館の準備をするところから始まり、それからずっと51年間以上、女学院と繋がっております。

―短大創設の頃の英語教育はどのようなものだったのでしょうか。

学生数は85名でした。講義では1クラス、英語講読などでは2クラス、オールイングリッシュでは4クラスぐらいに分かれていたと記憶しています。

―板倉先生は何を教えておられたのですか。

私は「英語音声学」の講義と「速読通訳」を担当していました。「英語音声学」というのは、英語の発音の理論と実際を教える科目ですが、私は構造言語学に基づく「英語音韻論」に踏まえた音声学を教えていました。でも学生達、よく理解してくれましたね。「速読通訳」ってのは英書を日本語訳なしで読み進むという意味の科目名で「通訳」ではありません。

この学科名は「速通 そくつう」というニックネームで親しまれていました。やがてカリキュラムが改正され「速読通訳」は「エクステンシブ・リーディング」になりました。ですから、「速通」という学科名を覚えておられる卒業生は、本当の初期の頃、在学された方々です。

―テキストはどのようにされていたのでしょうか。

短大では指定のテキストを使わなかったので、自由に選んでいました。大学用のテキスト出版社は数少なく、冊子の紙質も悪く、文字も小さく、カラーなど思いも及ばないことでした。英語音声学では講義ノートを作って講義していました。講義の半分は英語だったと思います。「速読通訳」では市販のテキストを使いました。とにかく音読するだけで英文を理解しなければならないので、テキストの選択には十分注意が必要でした。

―その頃、クラブ活動で英語に関連したサークルはありましたか。

それは、ESSです。クラブを立ち上げられ顧問をされたのは、松本先生でした。ESSのクラブ活動は、スピーチ・コンテストへの出場、短大文化祭での英語劇の上演、そしてそのために日常的に英語を話す練習をするという部活でした。松本先生の後を受けて私はESSの顧問を引き受けました。ESSクラブの学生達の英語劇は全て著名な劇作家の代表作でした。英文は原文のままでした。あの頃の学生たちの情熱を思い起こすと胸が熱くなります。

―グレープカップ・コンテストはいつ頃から始まったのですか。

1974年11月、文化祭のころでした。広報活動をし福岡女学院短期大学を世に知らせる大きな行事にしたかったからです。第1回目に24校から40人の出場者があり大成功でした。

―長い間、女学院に携わっておられるから、卒業生と出会われるでしょう。

そうなんですよ。とくに西鉄電車とデパ地下。(笑)天神サテライトや生涯学習センターでも、何人かの卒業生が私の講座を受講されています。

―今日は女学院短大の創設期の英語教育の楽しいお話、ありがとうございました。

私のほうこそ、50年以上のタイムトンネルを潜らせて頂いて大感激です。女学院の葡萄の枝に繋がっている喜びと恵みを、しみじみと感じます。ありがとうございました。

短期大学開学50周年記念祝賀会より　2014年4月26日(土)　西鉄グランドホテルにて



懐かしいミッションダンスで締めくくり…。



板倉先生と



1期生!!

卒業生 Essay

なでしこジャパンの活躍で注目された女子サッカー。女学院のサッカー部発足時のことについて**武谷三恵さん（S63年高卒）**に書いていただきました。武谷さんはサッカー選手としてけがの経験から医学を志し、現在、久留米大学医学部医学科生理学講座に勤務されています。

福岡女学院にサッカー同好会が発足したのは1986年、メキシコワールドカップが開催され日本代表の本田、長友、岡崎選手が生まれた年です。漫画『キャプテン翼』が流行し、それまで野球が不動の人気を誇っていたところに、サッカーブームが急速に広がってきた頃でした。キャプテン翼で繰り広げられる数々の名場面に夢中になるうちに自分でもサッカーをしたくなったのは、男子やスポーツが得意な子ばかりではありませんでした。

高校1年生数名が「野球部かサッカー部を作ろう」と仲間を募っていました。勧誘に応じた同級生達は皆サッカーをやりたい者ばかりで、私を含め半数以上はそれまで運動とは疎遠でした。11人以上集まり、県内には女子サッカーチームが存在し試合も可能だと分かったので、私達は先生方にサッカー部を創る許可を求めました。これに対し、頭のケガを心配したり女子にふさわしい種目とは思えない先生方もおられたようです。

愛好会としての活動を経て翌年に同好会へ昇格、福岡県サッカー協会に加盟しました。顧問に就いて下さった物理の中森久明先生のもとへご挨拶にうかがうと「女の子が脚を上げるスポーツなんて、とんでもない！」とまさかの先制パンチ…。初めての公式戦は、サッカーの試合とはいえませんでした。相手はまるで私達が存在しないかのように軽々とボールを回し、私達がたまにボールに触れたら反則の笛。ついにハーフタイムには、当時バレー部顧問だった鶴原一徳先生が応援席から降りてきて、ルールやスローインの仕方をご指導下さいました。後半も押され続け0－11で完敗。しかし試合後、意気消沈する私達に中森先生が「皆よく頑張った。これからも応援するぞ。」と初めて笑顔で励まして下さり気持ちが一変！希望を胸に帰宅したことを覚えています。

まもなくサッカーゴールが設置されるなど環境が整えられ、翌年、部活動に昇格。私達が卒業する頃には、鶴原先生が中学生の希望者を募って指導を始められ、数々の選手と福岡J・アンクラスを生み出す母体となりました。サッカーを通じ、かけがえのない出会いと体験が積み重ねられてきたことでしょう。長年クラブ、選手の育成に携わってこられた鶴原先生、OGの河島美絵さんを始め、熱意を持って活動を支えてこられた皆様に敬意を表します。また当時、突拍子もないチャレンジを願い出た生徒達を受け入れ、応援して下さった先生方と保護者に感謝申し上げます。



留学生

2014年5月7日～24日にタイや韓国から約30名の短期留学生が中高を訪れました。

期間中、カナン寮での宿泊、ホームステイ、授業やクラブ活動に参加と様々な体験を通して、異文化交流を重ねお互いの親睦を図りました。

同窓会ではタイ、韓国代表の3名ずつ6名の方にお話を伺いました。

司会：なぜ日本語を勉強しようと思いましたか？

タイ：日本語を教えたいと思います。

タイ：将来は漫画家になりたいと思います。日本語で漫画を読みたいです。

韓国：将来は、美容師になりたいです。日本の美容技術はすばらしいので留学して勉強したいと思います。そのために、日本語を勉強しています。

タイ：タイには車やパソコンなどをつくる日系企業がたくさんありますので、働きたいです。

韓国：TVのプロデューサーになりたいと思います。近い国なので、日本と韓国についての番組を作りたいです。

司会：福岡女学院を選んだ理由は？また日本や学校の印象はどうですか？

タイ：日本人は親切だなと思います。

韓国：私たちの通う学校もミッションスクールで交流があったからです。

タイ：タイは暑いので、日本は季節がいいと感じます。

タイ：日本の音楽がいいです。

韓国：女学院は、校則が厳しいです。私の学校は、髪、スカート、靴下は自由です。

タイ：タイはお弁当の習慣がなく、昼食はいつも食堂で食べます。

タイ：女学院では授業中とても静かでいいと思いました。タイでは授業中もおしゃべりをしてにぎやかです。

韓国：韓国でもそうですよ。

韓国：日本では部活動が盛んだなと思いました。韓国では8時～夕方6時の授業のあと、ほとんどの人が夜間自習で夜9時ころまで学校で勉強します。

1時間ほどのインタビューでしたが、上手な日本語で答えてくださいました。ホームステイ先や学校で日本語や文化を学ぼうとする意欲が旺盛でキラキラと輝いてみえました。アニメや、J－pop、などにも関心があり、日本の中高生と変らない一面もありました。

どちらの国の方々もしっかりと将来のことを考え、勉強にも励んでいらっしゃるようでした。留学生のみなさんが女学院で学ばれた事を生かして、自国で活躍されるのを期待しています。ありがとうございました。



学院では留学生のホームステイの受け入れ先を募集しています。（短期でも可）
ご協力をしてくださる方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局までご連絡ください。

62年前の少女どこ?

「大草原の小さな家」シリーズで知られる作家のローラ・インガルス・ワイルダーに62年前に手紙を書いた女性を捜しているという記事が朝日新聞（２０１３年５月１日付）に掲載されました。少女は当時福岡女学院中学２年生だった**萱野通子さん（S30年高卒）**ということが分かり、５月８日の新聞で紹介されました。

「私は福岡市に住む、14歳の少女です。あなたのお書きになった『長い冬』を読みました。とてもおもしろく、すばらしい本だと思いました。
…中略… 私は英語が得意ではありませんが、どうしても本のお礼を言いたくて、お手紙を書きました。
追伸：あなたに、私と同じぐらいの年齢のお嬢さんがいらしたら、手紙を交換したいです。」

この手紙は米国のローラ・インガルス・ワイルダー博物館で、シリーズ第６作「長い冬」の初版本に挟まれていたのが今年になって見つかったのです。翻訳家の谷口由美子さんは、博物館のコディ理事長に手紙の送り主「福岡市のカヤノミチコさん」を捜してくれと依頼され、朝日新聞に掲載されました。萱野さんは、この記事を義妹の萱野（旧姓井上）成子さん（S35年高卒）から知らされびっくりして当時のことを思い出したそうです。

萱野通子さんに同窓会に来ていただき、当時のお話をお聞きしました。

京城（現ソウル）から福岡に引き上げてきた戦後間もない頃でも、何もなかったけど本だけはありました。父が教会の帰りにいつも新天町の本屋で買って来てくれました。あの本も父からのクリスマスプレゼントだったのです。本に囲まれて幸せな子ども時代でした。

戦時中には憎むように教えられていたその国の作者の自伝的な物語には、親子の繋がりや明るくて魅力的な愛情溢れる一家の様子がいきいきと描かれていました。開拓時代の何もない、決して豊かではない暮らしの中であっても、小さな日常の喜びで幸福だと感じる少女と自分とを重ねあわせて読みました。

感動して手紙を書きたくても英語ができないので、宣教師の先生や英語の先生に教えてもらいました。作者のローラさんから綺麗な便箋に緑色のインクで書かれたお返事が来た時はとても嬉しかったことを覚えています。登場人物のその後のことも書いてあり、心のこもったあたたかいお手紙でした。

萱野さんは、いく度かの引っ越しでその手紙も本と一緒にどこかに無くしてしまったことを、とても残念がっていらっしゃいました。お姉さんも女学院卒で、ミッション・ファミリーです。女学院に通わせてくれたことを両親に感謝しているとおっしゃっていました。



同級生の栗山前会長と

海外便り

会報「ぶどう」は海外にお住まいの同窓生にもお送りしております。
今回、遠くカリブよりお便りをいただきましたのでご紹介いたします。

松尾 典子さん（旧姓 加來） H3年高卒 2013年よりドミニカ共和国在住

この度は、遥か遠いカリブ海まで同窓会会報「ぶどう」を送っていただきありがとうございました。こちらは年中30℃前後の気候です。英語も通じない国で、スペイン語に悪戦苦闘の毎日です。二人の娘たちのほうが、日本語学校がないため、5月からインターに通い、英語、スペイン語、フランス語とがんばって過ごしております。ここでの生活は、優雅な先進国への旅行とは別世界です。日本の常識を捨ててきても、夫婦初めての海外生活の昨年は想像以上の毎日でした。ホテル滞在中に、長女の入院に始まり、ようやく引越、治安上高級住宅街のはずのアパート修理、クルマ故障の連続…主人の仕事上、家族も徒歩禁止の為、ストレスは凄く、まるでかごの鳥のように感じました。



実は一度だけ娘二人が幼少の頃に、女学院にふらっと行きました。既に姉妹で6年間過ごしたシオン寮は移転して、時代の移り変わりを感じた次第です。偶然にも巡りあわせなのか?主人の転勤先々では、シオン寮時代の同級生が近くに住んでおり、なにかと助けられました。さすがにこの国では会いませんが、遠いドミニカまで旧友が日本の食材を送り届けてくれています。

同窓会も100周年になられるのですね。大先輩方の長い歴史にお祝い申し上げます。
それでは、同窓会総会のご盛会をカリブよりお祝い申し上げます。

～会報をお送りしますので、海外に転居される場合も同窓会へお届けください。～

125周年記念館6階に資料展示室開設

2014年5月17日（土）創立記念日より
125周年記念館6階にて
資料展示室を公開しています。

今まで百周年記念館内にあった資料室は、スペースが狭く資料を展示する場所もありませんでしたが、この度福岡市内を一望できるほどの女学院キャンパスで一番眺望の素晴らしい125周年記念館6階に新たに設置されました。

学内の方々をはじめ同窓生、保護者など多くの方々にお越し頂き、女学院の歴史に触れていただけますよう、皆さまお誘いあわせの上、ぜひご来場ください。

常設展示
「福岡女学院のあゆみ」

常設展示
「書籍展示」

特集展示

開室日・時間
月曜・火曜
木曜・金曜
9:30～16:30





Grape Garden
教養講座
グレープ・ガーデン

第18回 報告

「軍師官兵衛の信仰」

2014年6月28日（土）

講　座 13:00～14:00　　茶話会 14:00～15:00

講　師 **大島　一利**先生（福岡女学院大学宗教主事、福岡女学院大学講師）

2014年姫路、中津そして福岡はNHK大河ドラマの主人公「黒田官兵衛」に大きな関心を寄せ、沸きました。今回は大島先生に、官兵衛がキリシタンとなった経緯や軍師として、また信仰者として生きた彼の姿を当時の宣教師たちがどのように記録したのかなどを、映像を交えながらわかりやすくお話していただきました。茶話会でも大島先生にたくさんの質問が寄せられました。参加者は今回、黒田官兵衛や彼に関わった人々のことを深く知ることができ、その後ドラマをいっそう楽しく観ることができたのではないでしょうか。



第19回 次回予告

落語を聴いてみよう！

～親子で聴きたい冬の噺（はなし）・藪入（やぶい）り～



粗忽家（そこつや） 勘心（かんしん） さん

アマチュア落語家ながら福岡市内はもちろん、春日市、那珂川町、飯塚市、行橋市、荒尾市などでも公演の実績は多数にのぼる。2014年10月に内浜落語会の「真打昇進」を果す。



粗忽家（そこつや） すず柑（かん） さん

3歳より日本舞踊を始め、15歳で花柳流名取となる。2009年、福岡女学院大学人文学部表現学科卒業。その後花柳界に入り芸妓となる。内浜落語会では踊りや大喜利、お囃子にて日々精進中。

日　時 **2015年2月7日（土）**
13時～14時15分　落語・日本舞踊（無料）
14時15分～15時　茶話会（お茶菓子代500円）

会　場 **福岡女学院天神サテライト**
福岡市中央区天神2-8-38 協和ビル 9F

申込み TEL 092-715-2718
（福岡女学院天神サテライト）

お席の関係がありますので、
事前にお申込みをお願いします。

学院INFORMATION



福岡女学院大学・福岡女学院大学短期大学部

〔人　文　学　部〕現代文化学科／言語芸術学科
メディア・コミュニケーション学科
〔人 間 関 係 学 部〕心理学科／子ども発達学科
〔国際キャリア学部〕国際英語学科／国際キャリア学科
〔短　期　大　学　部〕英語科

一般入学試験日程

	出願期間	試験日
前期	2015年1月8日(木)〜1月22日(木)	国際キャリア学部……1月29日(木) 人文学部……1月31日(土) 人間関係学部・短期大学部……2月 1日(日)
後期	2015年2月12日(木)〜2月26日(木)	短期大学部……3月 5日(木) 人文学部・人間関係学部・国際キャリア学部…… 3月 7日(土)

お問い合せ　入試広報課　092-575-2970
http://www.fukujo.ac.jp/university/

ささえ、育み、未来につなぐ

福岡女学院看護大学

高度な医療を提供している病院へ就職しています。



〈就職実績〉

- 3期生(2014年3月卒業)
  国立病院機構系:50名
  大学病院:21名
  総合病院:15名
  保 健 師 : 3名
- 2期生(2013年3月卒業)
  国立病院機構系:46名
  大学病院:37名
  総合病院:20名
- 1期生(2012年3月卒業)
  国立病院機構系:40名
  大学病院:31名
  総合病院:21名

看護学部看護学科　学長 西間 三馨(国立病院機構福岡病院名誉院長)
〒811-3113　福岡県古賀市千鳥1-1-7　tel.092(943)4174
(連携先の国立病院機構福岡東医療センターに隣接)

福岡女学院中学校・高等学校



グローバル社会に向けて、
生徒一人ひとりの力強い未来を創造。

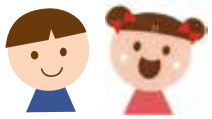
2015年度高校普通科特進クラス
進学クラス　スタート!

2015年度、文科省「スーパーグローバルハイスクール」アソシエイト認定校

お問い合せ先　tel:092-575-2470

福岡女学院幼稚園

ミッションメイト入会のおさそい



ミッションメイト会員の登録を受付けています。
お知り合いの方で福岡女学院幼稚園に興味をお持ちの方がいらっしゃいましたら、ご紹介ください。

会員の方へは園庭開放など、本園の子育て支援情報を掲載した「こそだての森」と「ミッションメイトだより」を毎月お送りします。

会　期　入会日〜就園前
対　象　未就園児(0歳〜4歳)とその保護者
会　費　無 料

ご希望の方は福岡女学院幼稚園までお電話ください
TEL.092-575-2472

いよいよ美しくて強い衣を創造する次の時代へ
～縦糸と横糸が美しく強い衣を織り成す～

ロゴデザイン製作：デザイナー・辻 政之
〈福岡女学院高等学校 非常勤講師〉

福岡女学院は2015年に創立130周年を迎えるにあたり創立130周年ロゴマークを作りました。

福岡女学院は、幾多の激動の時期を乗り越え、日本の女子教育のオピニオンリーダーとして歩み続けてきました。
その始まりは明治時代。「日本の女子に豊かな教育を」というアメリカ人宣教師ジェニー・ギール（初代校長）の熱い志が出発点でした。
その一つの“点”が打たれたことから1885年の学院創立が実現しました。130年を経過した現在もなお、変わらぬ理念と理想を胸に、女子教育の総合学園として発展を続けています。

このマークは福岡女学院のグレードである幼稚園、中学校、高等学校、大学・大学短期大学部・大学院、看護大学をそれぞれ5本の糸“線”で表しています。5本の縦糸と横糸が交互に重なり合って布“面”を織り、その布がやがて、美しくて強い衣の生地となるのです。
130周年を迎えるにあたり、日本の、そして世界の女子教育の牽引にますます尽力し、世界平和に貢献するという使命を実現するために、これからも福岡女学院は美しく強い衣を織り成していきます。

点から線、線から面、そしていよいよ美しくて強い衣を創造する次の時代へ。

学院創立130周年記念行事（幼稚園60周年・大学25周年）

※2014年12月1日現在

2015年

■ 2月～6月　バッハレクチャー（6回）
ミッション・バッハ・イヤーイベント

講師：鈴木 優人
（バッハ・コレギウム・ジャパンメンバー、アンサンブル・ジェネシス主宰）

会場　福岡女学院天神サテライト

■ 5月15日（金）　同窓会総会

会場　西鉄グランドホテル

■ 5月16日（土）　福岡女学院創立記念行事

● 記念式典（中高・大学・短期大学部・看護大学）



会場　福岡女学院ギール記念講堂

● メイクイーン・メイポールダンス

会場　中高校舎前（雨天の場合変更）



● 同窓会ホームカミングデー 130周年記念バザー

会場　福岡女学院キャンパス

● 鈴木 優人パイプオルガンコンサート

会場　福岡女学院ギール記念講堂

ミッション・バッハ・イヤーイベント

■ 5月23日（土）幼稚園のおたんじょうまつり 創立60周年

会場　福岡女学院幼稚園

60周年記念誌、教育課程発行、記念製作発表



■ 8月中旬 予定
福岡女学院の美術教育展、記念講演会（開催予定）

会場　福岡市美術館（予定）

■ 8月30日（日）　バッハ音楽会

会場　アクロス福岡 イベントホール

ミッション・バッハ・イヤーイベント

■ 9月5日（土）　幼稚園創立60周年記念行事

● 記念礼拝・講演会・祝賀会

会場　福岡女学院エリザベス・リー・ホール、幼稚園ホール

■ 10月2日（金）鈴木 雅明オルガンマスタークラス（公開）

会場　福岡女学院ギール記念講堂

ミッション・バッハ・イヤーイベント

■ 10月3日（土）柿薗記念パイプオルガンコンサート

鈴木 雅明（バッハ・コレギウム・ジャパン主宰）



会場　福岡女学院ギール記念講堂

ミッション・バッハ・イヤーイベント

■ 12月5日（土）福岡女学院短歌コンクール

会場　福岡女学院ギール記念講堂

■ 12月17日（木）～19日（土）
福岡女学院大学生による演劇公演

ミッション・バッハ・イヤーイベント

会場　アクロス福岡 円形ホール

■ 12月22日（火）クリスマスコンサート「第33回メサイア」



指揮：鈴木 優人

会場　アクロス福岡シンフォニーホール

■ 合唱セミナー（日時未定）

指導：鈴木 優人

会場　未定

ミッション・バッハ・イヤーイベント

大学25周年記念講演会を予定しています（日時未定）

2016年

■ 3月27日（日）　『マタイ受難曲』コンサート

ミッション・バッハ・イヤーイベント

出演：バッハ・コレギウム・ジャパン

会場　アクロス福岡シンフォニーホール

2015年度を福岡女学院創立130周年記念「ミッション・バッハ・イヤー」とします

福岡女学院は創立以来礼拝における讃美を中心として、音楽教育を重視し発展させてきました。この度、創立130周年を迎えるにあたり、「バッハの音楽を通して、聖書の力強いメッセージを現代社会に」というミッションをもって、バッハコレギウムジャパンの鈴木雅明氏の「バッハの遺産を後世に」というミッションに共鳴しつつ、2015年度を『ミッション・バッハ・イヤー』と位置づけました。

バッハコレギウムジャパン（BCJ）はバロックを専門とする日本のオーケストラ、合唱であり、1990年に鈴木雅明氏によって結成される。1995年以来、バッハカンタータ全曲録音をBISレーベルで発売、2013年2月に完結、世界に誇る偉業である。この間、世界中で演奏が高く評価され多くの受賞があるが、2012年6月にライプチッヒ市よりバッハの演奏に貢献した世界的音楽家に贈られる『バッハメダル』を鈴木氏が受賞。2014年度の第45回サントリー音楽賞受賞が決定している。なお、福岡女学院との関係も深く、『マリアの讃歌』を短期大学開学30周年記念に、学院創立115周年記念に『マタイ受難曲』を公演。そして創立120周年記念の『柿薗記念パイプオルガン』設置のアドバイザーを鈴木氏に依頼した。



鈴木 雅明氏

ミッション・バッハ・イヤー2015オープニング

鈴木優人オルガンコンサート

バッハ名曲シリーズ



【プロフィール】
東京芸術大学作曲科卒、同大学院古楽科修了、オランダハーグ王立音楽院オルガン科および即興演奏科を首席で卒業。バッハコレギウムジャパンのプレーヤーとして活躍、アンサンブル・ジェネシス主宰、アンサンブル・ヴォクス・ルミニス首席オルガニスト、横浜シンフォニエッタ首席指揮者、2013年より福岡女学院『メサイア』の指揮者を務める。

日　時	2015年5月16日(土)創立記念日　開場 13:00 / 開演 13:30
会　場	福岡女学院ギール記念講堂
チケット	2015年2月から販売予定
入場料(全席自由)	一般 2,000円 学生 1,000円
発売所	福岡女学院 チケットぴあ/ローソンチケット
問い合わせ	福岡女学院　(代表)TEL 092-581-1492

日本学生支援機構(旧日本育英会)奨学金返還ご確認のお願い

在学中に奨学金の貸与を受けた卒業生の皆様、何かの手違いで返還が滞ってはいないでしょうか？日本学生支援機構から毎年、返還延滞率について報告が届いています。返還延滞率が悪い状況が続けば、同機構から女学院に割り当てられる奨学金枠の減少につながるのではないかと心配しています。また、遅滞者が多い大学名の公表も検討されているようです。どうぞもう一度、奨学金の返還についてご確認ください。万一、何らかの事由で返還が困難な場合には、返還猶予などの手続きを取ることが出来ます。日本学生支援機構にご相談ください。

奨学金返還相談センター：0570-666-301(ナビダイヤル・全国共通)

同窓会本部へようこそ

五十嵐 松江さん(旧姓 上滝)
S16年女卒の方と同学年

2014年5月に同窓会本部を訪問されました。
五十嵐さんはお姉さまと共に転校で途中から、東京の恵泉女学園で学ばれましたが、同窓会への入会手続きをされ会員となられました。お優しかった徳永ヨシ先生のこと、音楽をしっかり教えてくださった西原文子先生(小野田よし子先生のお姉様)のことを懐かしくお話しされました。60才を過ぎて始められた社交ダンスとコーラスを楽しまれています。

同窓会では皆様の母校への「お帰り」をお待ちしています。
事前に事務局(TEL:092-575-2479)までご連絡いただけると幸いです。
また、五十嵐さんのように転校や中学卒業までで、同窓会会員になられていない方も、会則により入会できますのでご希望の方がいらっしゃいましたらお知らせください。


資料室にて


二田校長先生、栗山前会長と

音楽科卒業生会



卒業生会演奏会を2014年7月10日(木)に福岡市中央区舞鶴のあいれふホールにて、9月21日(日)に第17回総会・懇親会を開催いたしました。演奏会ではベートーヴェンから現代音楽まで、ソロ、デュオ、トリオと多彩なプログラムで構成され、聴きごたえのある一夜となりました。

「スプリング コンサート"春の訪れを感じて"」
2015年3月22日(日)13:30開演
福岡女学院ギール記念講堂
曲目：プッチーニ オペラ「ジャンニ・スキッキ」よりアリア、ショパン バラード etc.

音楽科48回卒業生(H24年卒)によるコンサートです。皆様のお越しを心よりお待ちしております。

2015年音楽科卒業生会行事予定

演　奏　会　7月10日(金) あいれふホール
総会・懇親会　9月開催予定
詳細は2015年春発行予定の「音楽科卒業生会通信」でお知らせいたします。

同窓会100年史作成準備中

＊同窓会発足100年を記念して「100年の歩み」を綴りたいと企画しました。ご協力をお願いいたします。
皆様のお手元に同窓会に関する資料、取り上げて欲しい同級生のエピソード等がございましたら、同窓会まで連絡ください。

学院や同窓会のイベントの際にミッショングッズの販売やバザーを行っています。

バザー報告



2014年のバザー

2014.03.01	高校卒業50年記念祝会
2014.04.26	短大開学50周年祝賀会
2014.05.16	同窓会総会(西鉄グランドホテル)
2014.05.17	創立記念日・同窓会ホームカミングデー
2014.09.06	中高「女学院祭」
2014.10.24、25	大学「葡萄祭」
2014.11.08	看護大「Nursing Festa」
2014.4月、10月~12月	各支部総会(10支部)
2014.12.06	天神サテライト「ハンドメイドマルシェ」
2014.12.23	メサイアコンサート(アクロス福岡)

バザー出店者募集!

今年も創立記念日に同窓生による出店を募集いたします。
今回より、ご出店品の一部に女学院限定販売を感じさせる物、例えばぶどうや錨、中高制服の色(夏服をイメージするブルーと白、冬服をイメージする紺とエンジ)を使用した物などをお願いいたします。
出店のご希望や詳しい内容のお問い合わせは同窓会事務局(Tel/Fax 092-575-2479)までお申し込み下さい。
但し、出店料が必要です(参考価格2014年度3000円)
応募が多数の場合は役員会にて検討させていただきます。

応募締切　2015年2月27日(金)

Fukuoka Jo Gakuin Alumnae Association

Mission Goods

ミッショングッズのお知らせ

2014年度より活動推進部が発足し、新しいグッズを企画、製作中です。
同窓会では、総会、創立記念日等学院のイベント、各支部総会にてミッショングッズを販売しております。
グッズについての詳細は同窓会ホームページをご覧ください。
また、同窓会事務局でもお買い求めいただけます。



博多人形「学校へ」のご案内

創立以来受け継がれてきた、
福岡女学院中学・高校の制服姿が
博多人形になりました。

制作者　博多人形師・博多人形白彫会会員・福岡女学院天神サテライト講師
永野　繁大

冬服・夏服　各3000円

なお、注文をお受けしてからの製作になりますので、発送までに少々お時間がかかります。
宅急便にてお送りいたします。別途送料はご負担下さい。

お問い合わせ、
お申し込みは
同窓会事務局まで。



同窓会サポーター募集!

同窓会の活動のお手伝いをしてくださる「サポーター」を募集しています。
女学校、中高、短大、大学、大学院、看護大すべてのグレード卒業の方が対象です。
1日だけでも、遠方の方でもOKです。バザーやホームカミングの際には「サポーター」の方々にご協力いただいています。ご自分に合った同窓会や学院へのサポートの方法があると思いますので、まずはご登録をお願いします。サポーターとしてご登録いただける方は、同窓会事務局(TEL&FAX:092-575-2479)までご登録ください。ご協力をよろしくお願いします。



お仕事会報告

本年度も盛会のうちにバザーを終了でき、同窓生・学院関係の皆様に心からお礼申し上げます。

お仕事会は発足して二十数年を経て、仲間たちも高齢になってきました。これからもお仕事を楽しみながら歳を重ねていきたいと思います。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

バザー収益金の寄付先

- 福岡女学院同窓会 1万円
- 卒業生合唱団「葡萄」 2万円
- 中高生徒会 3万円
- 中高YWCA 3万円
- フィリピン災害義援金 3万円
- 子供の村福岡を設立する会 3万円
- 国境なき医師団 2万円
- NPO法人ロシナンテス 2万円
- 福岡女学院教会クリスマス献金 ... 1万円



同窓会本部

会長 伊藤　和子（S46年高卒）

副会長 鶴　英子（S38年高卒）
園田　浩子（S39年高卒）
山下　偕子（S55年高卒）



監査 小串　洋子（S42年高・S44年短卒）
菅原奈穂子（S63年高・H3年短卒）



書記 須藤　敬子（S55年高・S57年短卒）
永田　典子（S59年高・S61年短卒）



総務 元山　香織（S59年高・S61年短卒）
境　紀子（S51年高卒）
高木　文（S52年短卒）
日下部千春（S59年高卒）



会員 泉田　裕子（S52年高卒）
中野真理子（S45年短卒）
稲原しのぶ（S54年高卒）
水野　朋子（S56年高・S58年短卒）



広報 末吉　恵子（S60年音卒）
井上　時世（S37年高卒）
永田　直美（S40年高・S42年短卒・H6年大卒・H8年大院卒）
角　静香（S46年高卒）



財務 松島　純子（S47年高卒）
月野木直子（S60年音卒）



活動推進 水田　美絵（S54年高卒）
藤原　京子（S43年音卒）
弥永美保子（S55年高卒）



事務局 白木美恵子（S56年高・S58年短卒）
時政　洋子（S54年高卒）
藤井　美穂（S58年音卒）



活動報告

1. 同窓会総会
2. 支部長会
3. 支部総会
4. 創立記念日のホームカミング
5. 卒後50年の同窓生の卒業式招待
6. 文化祭、講演会、学院行事への協力
7. 会報「ぶどう」発行
8. 85歳以上の会員へのクリスマスカード発送
9. 教養講座「グレープガーデン」開催
10. 会計処理（予算、決算、監査）
11. オリジナルグッズの企画、バザー開催
12. 役員会
13. 同窓会開催への支援
14. ホームページ管理
15. 会員情報データ管理

会計報告

■ 会費会計／収入の部

入会金	2,556,000円
会　費	21,751,000円
合　計	24,307,000円

■ 会費会計／支出の部

運営会計へ　16,344,582円

2013年度運営会計決算

■ 運営会計／収入の部

（単位：円）

	2013年度予算	2013年度決算	予　算　比	備　　考
会費会計より	16,344,582	16,344,582	0	
受取利息	0	4,495	-4,495	
雑収入	0	16,351	-16,351	名簿・ラベルシール代、その他
寄付金	0	729,082	-729,082	寄付金
イベント収入	2,500,000	1,175,000	1,325,000	総会費
前期より繰越	5,955,418	5,955,418	0	
合計	24,800,000	24,224,928	575,072	

■ 運営会計／支出の部

（単位：円）

	2013年度予算	2013年度決算	予　算　比	備　　考
総務部費	2,200,000	1,957,749	242,251	総会費他
会員部費	1,080,000	951,276	128,724	ホームカミング、卒後50年招待費、入会記念品費他
広報部費	3,470,000	3,548,932	-78,932	会報「ぶどう」発行費他
活動費	1,640,000	488,302	1,151,698	グレープガーデン・バザー開催等活動費
支部関連費	1,950,000	1,713,224	236,776	各部支援金、支部総会開催費他
支援金（学院・会員）	710,000	712,200	-2,200	各グレード・メサイア・サテライト支援費他
会議費	200,000	104,675	95,325	会議費
給与費	4,300,000	4,307,425	-7,425	事務職員3名分
コンピューター関連費	900,000	558,734	341,266	会員管理料、ホームページ管理料他
旅費・交通費	500,000	401,950	98,050	役員・事務局交通費他
通信費	300,000	305,633	-5,633	電話・郵便代他
雑費	500,000	368,533	131,467	税理士報酬、役員保険料他
消耗品費	250,000	241,556	8,444	事務用品代他
設備・営繕費	250,000	262,820	-12,820	中庭ガーデニング費用他
慶弔費	50,000	0	50,000	
予備費	500,000	0	500,000	
学院支援積立金	6,000,000	1,000,000	5,000,000	
合計	24,800,000	16,923,009	7,876,991	
次期繰越	0	7,301,919	7,301,919	
合計	24,800,000	24,224,928	575,072	

2014年度運営会計予算

■ 運営会計／収入の部

（単位：円）

科　　目	2014年度予算	備　　考
会費会計より	19,938,081	
受取利息	0	
雑収入	0	
寄付金	0	
イベント収入	2,500,000	
前期より繰越	7,301,919	
合計	29,740,000	

■ 運営会計／支出の部

（単位：円）

	2014年度予算	備　　考
総務部費	2,250,000	総会費他
会員部費	1,100,000	ホームカミング、卒後50年招待費、入会記念品費他
活動推進部費	1,500,000	グッズ、バザー開催費他
広報部費	3,560,000	会報「ぶどう」発行費他
活動費	360,000	グレープガーデン開催費
支部関連費	2,050,000	支部支援金、支部総会費他
支援金（学院・会員）	1,090,000	各グレード・メサイア・サテライト支援費他
会議費	200,000	会議費
給与費	4,500,000	事務局3名
コンピューター関連費	1,380,000	コピー料、ホームページ管理料他
旅費・交通費	600,000	役員・事務局交通費他
通信費	300,000	電話、郵便代他
雑費	400,000	税理士報酬、保険料他
消耗品費	250,000	事務用品代他
設備・営繕費	150,000	ガーデン費他
慶弔費	50,000	
同窓会100年史費	500,000	調査交通費他
予備費	500,000	
学院支援積立金	8,000,000	2012年分300万円　2013年分200万円　2014年300万円
学院130周年記念費	1,000,000	新聞広告
合計	29,740,000	

2014年4月12日監査の結果、相違のないことを認めます。（監査）

財務部より

同窓会会員の皆様からの貴重な会費を同窓会活動の運営と学院の発展のために、大切に使わせていただいております。
ご理解とご協力をお願い申し上げます。

同窓会へのご寄付ありがとうございました。

石森順子様、小幡梨枝様、柏村豊憲先生、片山優子様
唐澤眞喜子様、高比良陽子様、田中キク子様、田村奈緒美様
長岡陽子様、西間三馨先生、三島和子様、S19年女卒クラス会様

[同窓会会費について]

同窓会活動の運営は会員の皆様の会費で成り立っております。今後も同窓会活動の充実・発展のため、会費納入のご協力をお願いいたします。会費の振込は次ページの振込用紙をご利用ください。この振込用紙は同窓会会費専用の振込用紙ですので、他のお支払いにはくれぐれも利用されないようお願いいたします。同窓会会費は1口1,000円ですが、1,000円から何口分でもお支払いいただけます。満期は50口です。会報「ぶどう」の送付の際の宛名ラベルシールの左下に数字が記載されている場合は、会費の満期までの口数となります。何も記載されていない場合には、完納されている方です。

■ 満期までの口数（残）

完納された方にはこの数字が入っていません。

（例）この場合は満期（額）に対して21口分（21,000円）残っています。
※1,000円から何口分でもお支払いいただけます。

ご不明な点は同窓会事務局までお尋ねください。
（TEL&FAX 092-575-2479）

宛名ラベルシール

〒811-1313
福岡県福岡市南区日佐3-42-1
福岡　花子　様

21

29990013

■ 会員No.

郵便振込口座番号　01790－4－19034　福岡女学院同窓会

氏名の漢字表記について

氏名の表記でシステムの都合上、旧字体など表示できない場合がございます。
その場合は**代替文字**で表記させていただきます。ご了承ください。

例：吉➡吉　辻➡辻

ご住所のお届けについて

卒業後の住所のデータ管理は同窓会事務局にて行っております。同窓会へのお届けの住所、氏名等に変更がある場合には必ずご連絡ください。住所変更はホームページからもできます。

同窓会事務局　TEL&FAX 092-575-2479
ホームページ　http://www2.fukujo.ac.jp/alumnae/　　E-mail　alumnae@fukujo.ac.jp

Shores of the Sea of Galilee Column

ガリラヤ湖のほとり

大学宗教主事　大島　一利

「主なる神は、弟子としての舌をわたしに与え
疲れた人を励ますように言葉を呼び覚ましてくださる。
朝ごとにわたしの耳を呼び覚まし弟子として
聞き従うようにしてくださる。」（イザヤ書　50：4）

大学での礼拝は10：55から11：15にかけて守られています。またキリスト教関係科目を履修している期間には、教会での日曜礼拝への出席もよびかけています。それは課題とされ、また評価の一部をなしているからという事で、しぶしぶながら参加しているという学生もいます。それは教会出席レポートなどから感じます。しかし一方で教会の礼拝で得た安らぎや慰めを素直に伝えてもくれます。

その教会出席レポートの中でチャペルに関する反応を語る学生もかなりいます。チャペルが好きだという声もあります。その中でも最近目をひきましたのが、「朝を二度迎える喜び」という言い方でした。朝目覚めて学校を目ざす、そしてチャペルの時間にまた心と魂が目覚める、そのような感覚でしょうか。二回も朝があるので嬉しいという表現でした。

旧約の預言者は朝ごとに神の声を求めました。言葉を呼び覚まし、耳を呼び覚ますその恵みが神のしもべとしての朝の過ごし方として歌うように語られています。決められた行事の時間としてではなく、朝を二度迎える喜びをしっかりと感じとるチャペルを、こよなく愛している学生に励まされながら、これからも大切にして参りたいと願います。

逝去

つつしんで哀悼の意を表し、
主による平安をお祈りいたします。

2014.6.18	嶋代	田上	（村山）	S 3 女
2012.2.3	児田	神江	（宮下）	S 6 女
2013.12.21	木脇	堀小	（立沢）	S 8 女
2013.9.15	横池	郡末	（遠藤）	S 9 女
2014.2.3	鍋力	上古	（倉智）	S 9 女
2014.8.11	荒藤	河村	（荒川）	S 1 0 女
2013.5.6	石南	茅岩	（大沢）	S 1 0 女
不明	落井	千友	（松岡）	S 1 1 女
不明	下伊	渡佐	（寺野）	S 1 2 女
2013.9.29	秋中	田塚	（林）	S 1 3 女
2014.8.14	下倉	桜尾	（斉藤）	S 1 4 女
2014.4.4	野廣	内鈴	（新名）	S 1 4 女
2013.11.16	永島	丸田	（松村）	S14女S15専1
2013.12.17	上葉	池條	（野村）	S 1 4 専 1
2005.9	古辺	伯吉	（上田）	S 1 5 女
2014.10.4	荒野	吉辺	（原石）	S 1 5 女
2014.4.10	藤岡	川川	（鶴石）	S17女S18専1
2014.2.9	河川	田木	（立本）	S18女S19専1
2014.5.4	村手	口	（今井）	S 1 9 女
2013.12.6	宇口	永	（倉員）	S 1 9 女
2014.2.22	山	島	（橋本）	S 2 1 女
2014.3.20	石	丸	（喜多）	S 2 2 女
2012.9.12	南	田	（子嶋）	S 2 3 女
2014.6.18	茅	賀	（浦）	S 2 4 女
2014.8.20	岩	木	（野）	S 2 7 高
2014.2.16	落	井	（尾）	S28高S29専1S30専2
2014.1.2	井	里	（見）	S28高S29専1S31専2
2013.12.20	千	野	（井）	S 2 8 高
2014.2.14	友	尾	（本）	S29高H6短
2013.12.9	下	石	（池）	S 2 9 高
2014.1.8	伊	上	（藤崎）	S 3 0 高
2014.9.24	渡	葉	（辺）	S 3 0 高
2014.4.17	辺	池	（田）	S 3 0 高
2014.3	佐	條	（沢）	S 3 1 高
2014.8.31	秋	佐	（崎）	S 3 2 高
2014.10.27	中	辺	（山）	S 3 4 高
2014.9.13	秋	伯	（伊藤）	S 3 8 高
2014.1.21	田	吉	（前田）	S42高S44短
2014.8.28	塚	野	（塚岡）	S 4 2 短
2013.11	下	吉	（井上）	S 4 3 高
不明	倉	辺	（倉田）	S43高S45短
不明	桜	岡	（藤）	S 4 3 高
2006.1.7	尾	川	（花）	S 5 0 短
2013.3.28	佐	田	（間）	S 5 3 短
2014.8.20	野	木	（水）	S56高S58短
2014.9.4	廣	花	（口）	S59高S61短
2013.9.24	内	藤	（間）	S 6 1 短
2013.2.13	鈴	口	（入）	S 6 3 短
2013.11.24	八	川	（村）	H 4 短
2012.4.19	大	田	（口）	H 8 短
2013.4.4	平	木	（庭）	H 1 5 高

	ル	枝	（村山）	
	ツ	静	（宮立）	
	子	ふ	（遠倉）	
	子	啓輝	（荒大）	
	子	恵子	（松寺）	
	子	子	（林）	
	子	恵子	（斉藤）	
	子	代和	（新松）	
	子	子	（野村）	
	子	子	（上田）	
	子	子	（鶴立）	
	子	子	（山今）	
	子	子	（倉井）	
	子	子	（倉員）	
	子	子	（橋本）	
	子	子	（河喜多）	
	子	子	（鹿子嶋）	
	子	子	（浦）	
	子	香子	（野）	
	子	エ子	（尾）	
	子	子	（見）	
	子	子	（井）	
	子	コ子	（本）	
	子	子	（池）	
	子	子	（藤崎）	
	子	子	（辺）	
	子	子	（田）	
	子	子	（沢）	
	子	子	（崎）	
	子	子	（山）	
	子	子	（伊藤）	
	子	子	（前田）	
	子	ル子	（塚岡）	
	子	子	（井上）	
	子	子	（倉田）	
	子	子	（藤）	
	子	子	（花）	
	子	子	（間）	
	子	代栄代	（水）	
	子	子	（野）	
	子	子	（間口）	
	子	子	（間入）	
	子	子	（家中）	
	子	子	（村口）	
	子	子	（谷大）	
	子	子	（平田）	

	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	女			
	高			
	高			
	高			
	高			
	高			
	高			
	高			
	高			
	高			
	高			
	高			
	短			
	高			
	短			
	高			
	短			
	短			
	短			
	短			
	短			
	短			
	短			
	短			
	高			

※（　）旧姓です。　※卒年順です。

カフェラウンジオープン!

2014年9月18日(木)大学1号館1階にカフェラウンジがオープンしました。

約1000㎡と広々したスペースにソファー席、カウンター席…そして外にはテラス席も設置されています。座席数はおよそ200席あります。

内装は、間接照明がメインの落ち着いた雰囲気で、コーヒーを飲みながらゆっくりと過ごせそうです。コーヒー類は100円～250円、ソフトドリンクは100円、ビネガードリンクも130円で人気です。モーニングセット、日替わりランチそしてオムライス、パンケーキやフレンチトーストなど、カフェメニューも充実しています！焼き立てパンもご用意しています。ニモカも利用できます。

カフェラウンジの奥に、売店もオープンしました。文具、書籍、お菓子、生活雑貨など購入できます。







卒後50年の同窓生の卒業式招待

卒後50年を記念して、母校の卒業式にお招きします。次回はS39年高卒の皆様方です。
どうぞお楽しみに。当日は式後、同窓会センターにて軽食の準備をしております。

日 時 2015年3月3日 火
10:00～

場 所 ギール記念講堂



卒後25年同窓会のご案内

創立記念日に高校卒業後25年の同窓会開催を支援しています。
次回はH2年高卒の皆さまです。当日、お子様同伴も大歓迎です。お誘いあわせの上、ご来会ください。

日 時 2015年5月16日 土 *詳細につきましては、別途ご案内させていただきます。



福岡女学院 創立130周年
同窓会ホームカミング＆バザー

2015年5月16日(土) 10:00-15:00

メイポールダンス終了後
同窓会センターにてお茶とお菓子をどうぞ

卒業生による手作り品バザー・ミッショングッズ等を販売致します。
懐かしい先生方やお友達と楽しいティータイムをお過ごしください。
ご家族やご友人等とお誘いあわせのうえ、是非お越しください。





Messiah

「第32回メサイア」を無事盛会の内に終了できましたことを
心より感謝申し上げます。
さて、今年も「第33回メサイア」を開催いたしますので、
皆様お誘い合わせの上ご参加くださいますようご案内申し上げます。

第33回 メサイア
2015.12.22(火)
開場/18:00 開演/18:30

会 場 アクロス福岡 シンフォニーホール
指 揮 鈴木優人

合唱団員募集

7月中、総務・校友課で受け付けます。
はがき、電話、ファックスまたはEメールで申し込んでください。
申し込み方法：名前、住所、電話、パート、卒業年度、
メサイア経験有無を明記してください。

申し込み先
〒811-1313
福岡市南区日佐3丁目42-1 福岡女学院本部大学総務・校友課宛
TEL：092-581-1492 FAX092-575-2470
E-mail：messiah@fukujo.ac.jp

編集後記 ぶどうの一粒

新年あけましておめでとうございます。
今回の会報「ぶどう」はいかがだったでしょうか?
原稿をお寄せ下さった皆様、学院の先生方、その他大勢の方々のご協力ありがとうございました。
皆さまのご健康をお祈りいたします。 （広報部：末吉恵子、井上時世、永田直美、角静香）

皆さまの声をお聞かせください。ご意見、ご感想をお待ちしてます。

●福岡女学院同窓会会報「ぶどう」第20号 2015

福岡女学院同窓会
〒811-1313 福岡県福岡市南区日佐 3-42-1
TEL・FAX(092)575-2479
【ＵＲＬ】http://www2.fukujo.ac.jp/alumnae/
【E-mail】alumnae@fukujo.ac.jp

■個人情報取扱いについて
2005年4月より、個人情報保護法が制定されました。個人情報を取り扱う同窓会事務局としましても、慎重に皆様の会員データを管理しております。懐かしいお友達へのご連絡など、事務局へ沢山のお問い合わせがございますが、必ずご本人様への確認をさせていただいた上でお答えしております。同窓会会員には同姓同名の方が多くいらっしゃいます。データ管理の間違いを防ぐために生年月日のご確認をさせていただきます。皆様のご理解とご協力をお願い致します。

住所・氏名変更、同窓会会費その他お問い合わせ、ご連絡は同窓会事務局へ（受付時間：月～金 午前10:00～12:00／午後13:00～16:00）